

3-3 看護部

看護部総括

副病院長兼看護部長 増田良江

令和5年度の看護部は、1. 地域に密着した医療・介護を提供する、2. 高齢者にあたたかな医療・介護を提供する、3. 救急医療体制を充実する、方針4. 災害に強い医療・介護体制を確立する、の4つの方針のもとに部署、委員会ごとにアクションプランを立て活動しました。方針に基づくアクションプランのA評価以上の達成率は94%であり、おおむね達成されました。

方針1. 地域に密着した医療・介護を提供する

地域貢献するためには、安定的経営の継続が必須です。収益増を目指し、回復期リハビリ病棟のベッド稼働率は目標達成し、療養病棟、老健病棟も増加したことで、令和4年度より全病棟稼働額は増加しました。加算も高い基準を維持しました。しかし、外来受診者数、入院患者数は減少し、全体として減収となりました。この要因として、内科医の減少があります。また、感染症分類が2類から5類へ変更となりましたが、コロナ感染症対策は継続し、社会的制約が解除されたことで、対応がより複雑となりました。しかし、各部署で経費削減に取り組み、各部署の目標を達成し成果を得ました。

また、職員減数に伴い、部門間のタスク・シフト/シェアを図ることで専門性が維持できるように協働しました。しずケアネットかけはしも導入し、地域包括ケアシステムの体制整備も図りました。

方針2. 高齢者にあたたかな医療・介護を提供する

患者さん、利用者さん自身が健康管理できるように、透析導入マニュアル、患者指導パンフレットを作成し、指導支援を充実しました。一人一人の個別性を理解し、在宅療養支援の能力を図るため、意思決定支援、認知症ケア、ポジショニング等の学習会、事例検討会を各部署で取り組みました。看護・介護実践として、術中訪問、在宅療養、セルフケア、排泄ケアへの介入をしました。看護実践能力を評価するクリニカルラダーを改訂し、専門職として幅広く自己の課題が明らかとなる内容としました。次年度、介護ラダーとマネジメントラダーの改訂に取り組む予定です。

方針3. 救急医療体制を充実する

外勤医が多い当院において、救急応需を向上するため救急外来マニュアルを作成しました。急性期病棟のみでなく、回復期リハビリ、慢性期病棟において、介護職も含め窒息の急変に対応できる学習会を各部署で取り組みました。コロナ感染症のクラスター発生時、感染管理者のもと行動し協働しました。

方針4. 災害に強い医療、介護体制を確立する

各部署において災害医療の学習会、BCPに基づいた机上シミュレーション、災害訓練を行いました。新たな課題も抽出されており、次年度も継続して取り組んでいきます。

令和5年度は老健病棟でクラスターを経験しました。重症化しやすい高齢者が多く、介護職が多い中での感染管理でしたが、センター長の医療判断を基に、病院、各部署と連携できたことで乗り越えることができました。4年に渡るコロナ感染症対策により、患者さん、利用者さん、ご家族、市民の皆様にはご心配とご不便をおかけしましたが、面会制限を少しずつ緩和しました。状況を確認しながら日常に

戻っていきたいと考えています。

看護部理念の「心あたかな看護・介護」「信頼される質の高い看護・介護」に立ち戻り、患者さん利用者さん主体の意思決定支援に基づき専門性の発揮に取り組んできました。また、少子高齢多死社会に突入して人材確保も厳しくなっています。ITの活用、DX化と、新たな知見での医療・介護に取り組む必要もあります。地域住民の皆さまが安心して暮らせる在宅療養支援を看護部職員一同、取り組んでいきます。

外来・透析

外来師長 鶴澤仁美

部署の方針

1. 外来看護師の視点での患者介入
2. 知識の構築
3. 安全な環境調整

部署目標

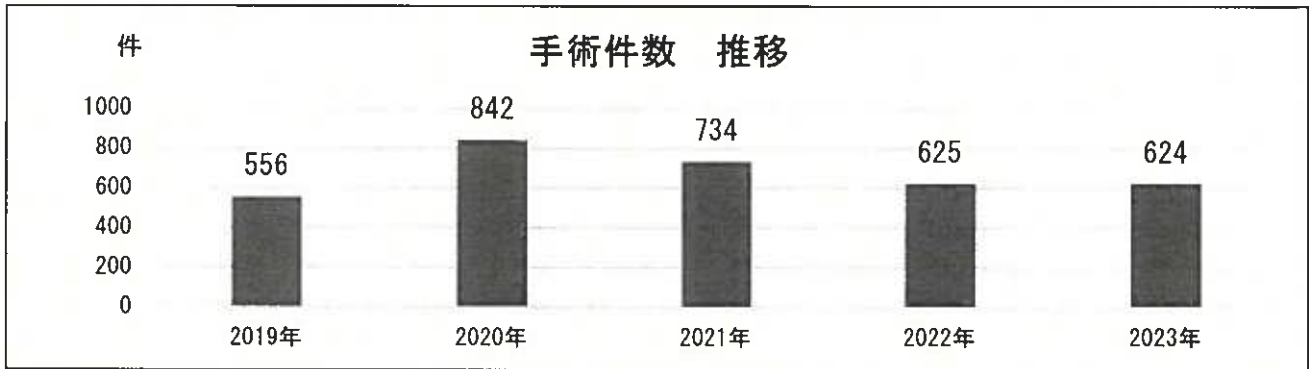
1. 材料費の縮減
2. 透析導入期指導の理解度
3. 救急マニュアルの見直し
4. ゾーニング机上シミュレーションの実施
5. 在宅支援介入プロセス、解決したい課題の抽出
6. ACP 事例検討
7. リスク対策実施評価
8. 経路別感染予防策の知識取得

評価

- 目標 1：診療材料の使用状況をブース担当者が毎月確認し、診療材料を 135,163 円削減、目標達成した。
- 目標 2：透析導入患者への指導内容と指導後の理解度の確認事項を検討し指導マニュアルを作成した。
令和 4 年～令和 5 年に透析を導入した患者 6 名に対し、指導マニュアルに沿った指導と指導後の理解度評価を行い、目標達成した。
- 目標 3：救急マニュアルの内容について医師に相談しながらシミュレーションを実施、救急マニュアルの修正を完了した。
- 目標 4：災害コーディネーターを中心に、常勤看護師全員を対象にゾーニングの机上シミュレーションを計画、実施した。
- 目標 5：外来要支援者のアルゴリズムについて勉強会を行い、要支援者スクリーニングシートを作成した。スクリーニングシートに沿って外来継続看護の要支援者を抽出ができるようになった。また、課題抽出シートを使用し、要支援者に介入を行うことができた。タイムリーなカンファレンスの実施が課題である。
- 目標 6：ACP の勉強会を実施し、ACP 事例検討会を 4 回/年実施、目標達成した。
- 目標 7. リスクカンファレンス後に、各ブース、関係者に対策の周知と、対策が実施できているかどうかラウンド評価を行った。今年度再リスクは起きていない。
- 目標 8. 感染経路別予防策について勉強会を実施した。また、基礎テスト、症例テストを行い、テスト後に個別指導を実施した。看護師全員がテストで満点を取得し目標達成した。

手術室

看護師長 松井順子



2023年度 手術室 月別統計

稼働日数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	合計	
科別	内科	2	2	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0.6	7	
	外科	13	10	14	10	10	7	9	8	8	9	11	7	9.7	116	
	眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	
	整形	21	31	30	28	28	25	29	23	25	29	38	25	27.7	332	
	形成	10	13	9	9	9	9	7	12	8	6	9	7	9.0	108	
	脳外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	
	産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	
	耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	
	泌尿器	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.1	1	
	皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	
	麻酔科	4	3	9	9	5	5	8	4	3	3	4	3	5.0	60	
	リハビリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	
	麻酔別	全身麻酔	12	13	14	12	9	9	13	11	12	16	12	12	12.1	145
		全身麻酔+硬・脊・伝	5	8	11	11	10	7	8	3	7	7	10	7	7.8	94
脊麻+硬膜外麻酔(CSEA)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	
硬膜外麻酔		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	
脊髄くも膜下麻酔(脊髄麻酔)		8	12	6	3	8	9	8	7	4	6	11	4	7.2	86	
伝達麻酔		3	0	1	1	3	1	2	3	1	2	5	6	2.3	28	
その他		23	26	30	30	22	21	22	24	20	16	24	13	22.6	271	
うち局麻		19	23	21	21	17	16	14	20	17	13	20	10	17.8	211	
手術・アンギオ件数計(月合計)	51	59	62	57	52	47	53	48	44	47	62	42	52.0	624		

<目標実行計画>

【手術室看護師のあるべき姿】安全で安楽かつ安心できる手術看護の実践、施設経営への貢献

番号	目標	最終評価基準	結果
1	経費低減	経費低減値	1,012,735 円
2	手術材料在庫数の見直し	在庫見直し件数	42 件
3	手術中訪問看護の評価	手術中訪問看護 実施状況評価	14 回
4	異動者 手術看護業務の自立 (看護師)	「自立して実施できる」と他者評価された 看護業務 項目数	35 項目
5	異動者 手術業務の自立 (臨床工学士)	「自立して実施できる」と他者評価された 器械出し業務 項目数	42 項目
6	机上シミュレーションの実施	机上シミュレーションによる評価・改善案	レポート コメント 0
7	院外研修参加	院外研修参加率	150%

【評価】

安全で安楽かつ安心できる手術看護を提供するため、手術看護の質の担保と指導者の教育に努めた。役割の明確化と定期的な評価により、組織マネジメントが機能し、各目標を達成することができたと思われる。

東 3 階病棟（内科病棟）

看護師長 川口恭子

部署の方針

4. リハビリ担当者と連携したチーム医療の推進
5. 予防医療の実施

部署目標

1. 高齢者総合評価加算の取得
2. 病床稼働率の増加
3. 地域包括ケア病床稼働率の増加
4. 診療材料費の削減
5. 予防医療の実施
6. リハビリ担当者と協働した看護ケアの実践
7. 看護理論カンファレンスの実施
8. インシデント対策の継続
9. BCP 修正
10. 救急対応に関する学習会の実施

評価

- 目標 1：加算取得のためのシステム作成と啓発活動、グループリーダーによる日々の確認により、目標値は達成された。
- 目標 2：早期より退院支援・調整を行うことで、在院日数が減少し、病床稼働率を増加することができた。
- 目標 3：包括病床対象患者は減少傾向にあるが、調整し稼働率を増加することができた。
- 目標 4：SPD と使用頻度を確認し、定数変更を行い、年間で3万円ほどの削減ができた。
- 目標 5：昨年度まで使用していたパンフレットを修正し、心不全の入院患者全員に対し、患者指導の実施ができた。今後も予防医療には取り組んでいく。
- 目標 6：リハビリ担当者と協働し、情報共有、その後の看護ケアを実践できた。部署会で高評価の事例を共有することもできた。
- 目標 7：看護理論を用いた看護実践のリフレクションにより、根拠に照らし合わせたカンファレンスの実施ができた。
- 目標 8：インシデント検討後の対策を提示し、対策の再評価を行うことで、インシデント件数が減少した。
- 目標 9：アクションカードの見直し・修正、非常食の購入、災害時対応ができるように環境を整えた。
- 目標 10：クリニカルラダー別に急変時対応の勉強会を実施し、スタッフ全員が参加できた。

西 3 階病棟（外科病棟）

看護師長 村松由利子

部署の方針

1. クリニカルラダーに沿った看護技術・知識の習得
2. 働きやすい職場環境の整備

部署目標

1. 診材在庫数の削減
2. 病床稼働率の増加
3. 患者指導パンフレットの修正
4. クリニカルラダーに沿った勉強会の実施
5. 机上初動訓練の継続
6. 救急シミュレーションの看護師全員参加
7. タスクシフト・シェアの実施

評価

- 目標 1：削減数は 14 個で目標達成。毎月見直しを行い共同購入に変更したことで評価に繋がった。
- 目標 2：12 月までの評価で 59.9%であった。在院日数は平均 13 日。稼働が少ないのはやはり医師不足が原因と思われる。
- 目標 3：達成率 100%。計画どおり、チューブ管理、バルンカテーテル挿入、大腿骨脱臼予防の在宅管理のパンフレットの作成ができた。
- 目標 4：達成率 100%。各担当者が計画どおりできるよう、主任と中堅看護師が指導に入ったため計画どおり実施することができた。
- 目標 5：危機管理委員の主任と担当で計画どおり実施でき目標達成
- 目標 6：主任と委員会担当がシミュレーションの知識があったため、計画通り実践できた。
- 目標 7：ナースコール、ICU チェック、ターリングの交換、ケア表の見直しと、4 つタスクシフト・シェアができたため目標達成

回復期リハビリテーション病棟

看護師長 鈴木里江

部署目標

1. 病床稼働率の増加
2. 入棟患者へ対するリハビリテーション提供料の増加
3. 退院支援の振り返りの実施
4. 患者ケアの質の向上
5. 人材育成能力の向上（看護師）
6. 救急・疾患についての学習の実施（看護師）
7. 排泄ケアの振り返りの実施（介護員）
8. 家族指導の実施（介護員）
9. 経費削減の実施
10. 災害の机上シミュレーションの実施

評価

- 目標 1 : 病床稼働率 91.2%で目標達成できた 紹介件数増加・脳血管疾患患者の増加により病床稼働率は増加した。
- 目標 2 : 提供退院数は平均 4.4 単位で目標達成できなかった。病床稼働率の増加とスタッフ減少により達成できなかった。
- 目標 3 : 多職種で 4 件事例検討を実施し目標達成できた。退院した患者様の生活を知ることで、在宅生活のイメージがしやすくなった。
- 目標 4 : 多職種でグループ活動（食事・認知症・スタッフコールなど）を行い、病棟内に課題に取り組んだ。全グループが活動目標を達成できた。
- 目標 5 : 後輩指導について定期的な話し合い、指導方針を共有することで目標は達成できた。
- 目標 6 : 心不全やリウマチなどの疾患について 4 回/年勉強会の実施を行った。
- 目標 7 : 介護員全員が、排泄ケアについての振り返りを行い、排泄ケアに質の向上につながった。
- 目標 8 : 介護員全員が 2 回以上、患者様に合わせた家族指導を実践でき目標達成できた。今後も予後予測しながら、患者に合わせた家族指導が行えるように取り組んでいく。
- 目標 9 : 年に 5 件経費削減の取り組みを行い、経費削減への意識が高まっている。
- 目標 10 : 年 3 回実施し目標は達成できた。シミュレーションを行うことで、災害時対応のイメージ化やアクションカードの修正を行うことができた。

認定看護師活動報告

1) がん性疼痛看護認定看護師：村松由利子（西3階病棟）

ア 目的

- ① がん性疼痛を有する患者への疼痛緩和や、患者の家族への支援に関する最新の知識と技術を用いて水準の高い看護実践を提供できる。
- ② 看護現場におけるがん性疼痛看護に対する看護ケアの広がりや質の向上を図る。

イ 活動目標

- ① がん患者を全人的に捉えることができるよう、委員会・緩和研究会、カンファレンスなどにおいてサポートする。
- ② カンファレンスや緩和ケア研究会の場で、がんの痛みにおいて個別にあった薬物療法・非薬物療法を提供する。
- ③ がん患者やその家族が、安心して生活することができるための計画を立案し、実践できるよう指導する。
- ④ 相談者（コンサルティ）が、問題解決能力を養うことができるよう支援する。
- ⑤ がん性疼痛緩和指導管理料、がん患者指導管理料1.2を算定し組織へ参画する。

ウ 活動内容と実績 令和5年度活動内容実績

活動項目	内 容
看護実践	・がん患者疼痛マネジメント40件 ・緩和ケアマニュアル見直し
指導	・患者・家族に医療用麻薬の使用方法を指導
相談	・コンサルテーション29件 ・外来看護相談3件
その他	・がん患者指導管理料1算定 11件 ・がん性疼痛緩和指導管理料算定 24件

2) 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師：鈴木里江（回復期リハビリテーション病棟）

ア 目的

- ① 脳卒中リハビリテーション看護分野における、患者・家族に対し、急性期・回復期・維持期を通し質の高い看護を提供する。
- ② 看護現場における脳卒中リハビリテーション看護に対する看護ケアの広がりや、質の向上を図る。

イ 活動目標

- ① 脳卒中患者に対して、生活再構築、セルフ能力を高めるための回復支援ができる。
- ② 脳卒中患者の高次脳機能障害が日常生活に及ぼす影響を予測し、ケアの実践ができる。
- ③ 脳卒中の発症・再発予防のための健康管理に指導ができる。
- ④ 排尿自立に向けた、介入を実践する。
- ⑤ 院内コンサルテーションに対して、相談・支援ができる。

ウ 活動内容と実績 令和5年度活動内容実績（令和5年4月～令和6年3月）

活動項目	内 容
実践	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害患者に対して、患者の状態に合わせたタイムリーな支援を行うことができるように定期的なカンファレンスの実施 ・院内脳卒中患者に対して、脳卒中再発予防指導実施 ・排尿自立支援 2回/週 ラウンドを実施
指導	<ul style="list-style-type: none"> ・新人オリエンテーション
相談	<ul style="list-style-type: none"> ・院内コンサルテーション件数 20 件

3) 皮膚・排泄ケア認定看護師；岡本律子（療養病棟）

ア 目的

- ① ストーマの造設や褥瘡などの創傷及び失禁に伴って生じる問題に対して、専門的な技術を用いて質の高い看護を提供する。
- ② 皮膚・排泄ケア（創傷・オストミー・失禁）領域で、優れた実践力を発揮し、看護現場におけるこの領域の看護ケアの広がりや質の向上を図る。

イ 院内における活動目標

- ① ストーマ造設者や保有者に対し、身体的・精神的・社会的問題を的確に把握した質の高い看護が実践できる。
- ② 自施設の褥瘡対策がマニュアル通りに実施できるよう、褥瘡対策委員会(院内・看護部)を運営する。
- ③ 排尿の自立にむけ、尿管の抜去に対する介入を行う。
- ④ 相談に対し、症例に応じたタイムリーな看護実践を行う。

ウ 活動内容と実績 令和5年度活動内容実績

活動項目	内 容
実践	<ul style="list-style-type: none"> ・ストーマの造設者や保有者の身体的・精神的・社会的問題に対するケア ・ストーマ外来 ・褥瘡や皮膚潰瘍・術後創などの創傷ケアやスキンケア ・失禁に関連したスキンケア ・褥瘡回診（月2回定期的な多職種によるラウンド）合計 108 件 ・排尿ラウンド 毎週1回
指導	<ul style="list-style-type: none"> ・新人オリエンテーション

相談	・コンサルテーション件数 45 件
その他	・院内 NST・褥瘡対策委員会運営（褥瘡対策データ集計・研修会実施等） ・東海アクシス看護専門学校「在宅看護援助論Ⅱ」非常勤講師

4) 感染管理認定看護師：松井順子（手術室・中央材料室）

ア 目的

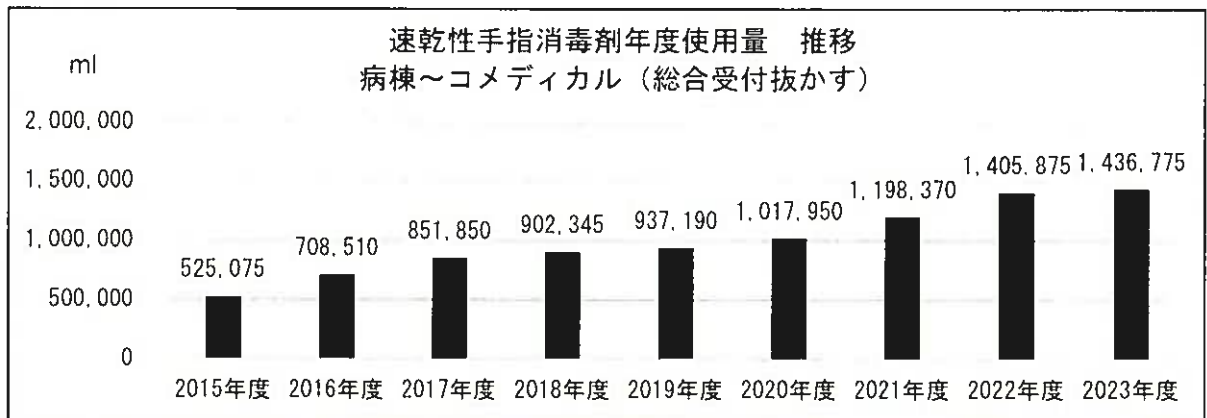
専門的な知識と技術を用いて、患者・来訪者・医療従事者・施設・環境を対象に、感染に対するリスクを最小限に抑えるため、正しくかつ効率的な感染管理を計画、実践、評価し、施設が提供するサービスの質の向上を図る

イ 活動目標

- ① 手指消毒遵守率の向上 ② 感染対策の遵守

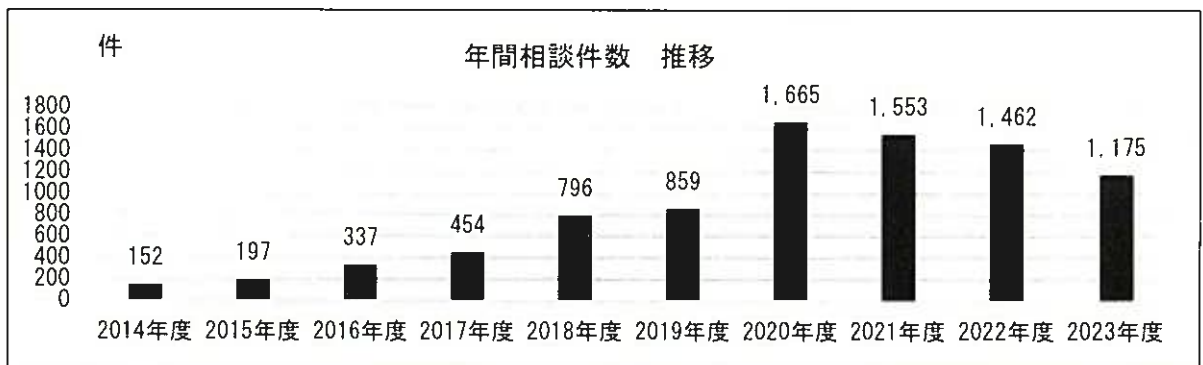
ウ 活動内容と実績

- ① 令和5年度速乾性手指消毒剤使用量⇒目標達成



- ② 感染リンクスタッフ委員会年間計画の最終評価基準 ⇒ すべての計画について、達成

- ③ その他



アウトブレイク等 関連介入	院内外 研修講師	中東遠感染対策 カンファレンス参加	休日時間外 呼び出し・相談・報告	認定看護師 専任時間 取得平均
49 件	4 回	8 回	294 件	0.3 日/月
院内感染対策マニュアル更新			令和5年7月	

5) 訪問看護認定看護師：松下知子（しろわクリニック）

ア 目的

- ① 在宅療養者・障がい者及びその家族に対して、熟練した看護技術と専門的知識を用いて質の高い看護を実践する。
- ② 在宅看護領域における訪問看護に対する看護ケアの広がりや質の向上を図る。

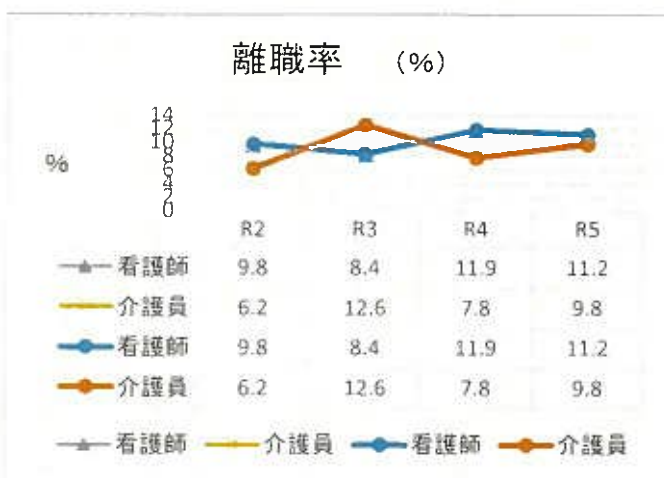
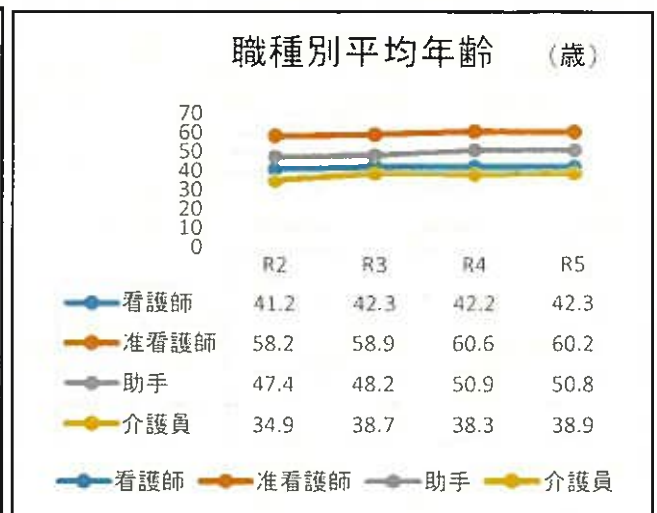
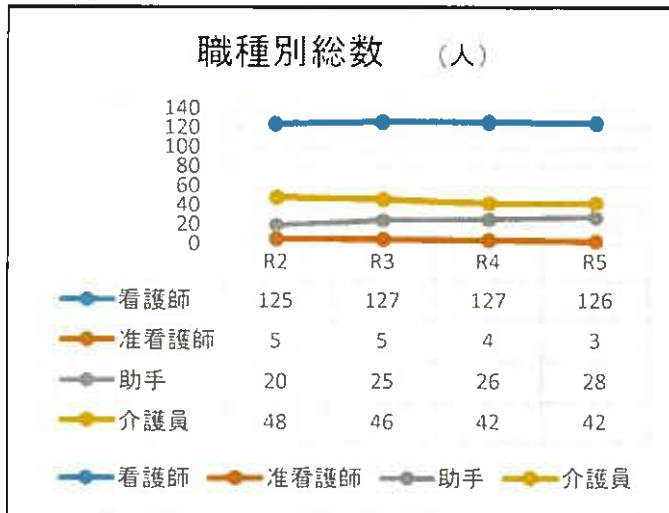
イ 活動目標

- ① 多職種・他部門との連携を強化し、質の高い看護ケアを提供する。
- ② 在宅療養者・障がい者の主体性を尊重し、セルフケア能力を高める支援ができる訪問看護師を育成する。
- ③ 複雑・困難事例・在宅看取り事例に対し、個別性のある看護実践を提供する。

ウ 活動内容と実績 令和5年度活動内容実績（令和5年4月～令和6年3月）

活動項目	内 容
実践	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問診療新規利用者数：62件／年 ・在宅看取り件数：39件／年 ・講師・講演活動： <ul style="list-style-type: none"> 院外：1件 静岡県看護協会 中東遠地区支部総会 「看護がつなぐ医療と暮らし」
指導	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護・訪問診療導入について説明
相談	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーションはまおか 御前崎市包括支援センター ・県西部地区総合病院相談部門
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県訪問看護ステーション協議会 西部地区支部役員 ・御前崎市多職種連携プロジェクト会議 ・メディケアネット御前崎 ・御前崎市在宅医療・介護連携推進会議

1. 看護職員情報



2. 長期研修(7日間以上)出席者

認定看護師教育課程 : 尾崎美保子

「緩和ケア」特定行為区分「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」含む

認定看護管理者教育課程

「セカンドレベル」 : 鶴澤仁美 植田淳子

「ファーストレベル」 : 堀江晃子 遠藤秋子

災害支援ナース養成研修 : 曾根ゆう子

介護老人保健施設リスクマネージャー養成講座 : 村松依見

認知症介護実践リーダー研修 : 曾根菜都美

介護福祉士ファーストステップ研修 : 大石悠奈

3. 派遣した出前講座・出前授業・研修会講師

日 時	内 容	依頼施設/対象者	派遣者
6月2日	卒業生との懇談会	東海アクシス看護専門学校/ 1学年	山本千裕
6月3日	まちの保健室	静岡県看護協会中東遠地区支 部/御前崎市民	西川美佐子 杉山弘美
6月15. 16.17.18日	ユピテル・静岡新聞 SBSレディース 救護派遣	静岡カントリー浜岡コース	増田知子 渥美裕世 鈴木千裕 市川裕之
6月22日	基礎看護学 診療援助技術編 BLSの 実際	東海アクシス看護専門学校/ 1学年	市川裕之 澤島和子 鈴木千裕

6月28日	新人会員研修	静岡県看護協会 新人会員	塚本美奈
6月29日	職業講話 みんなで話そう 看護の出前授業	御前崎中学校/ 2年生	赤堀千佳子
7月6日	職業講話 みんなで話そう 看護の出前授業	浜岡中学校/ 2年生	伊藤裕美
8月1日	感染防止対策	特別養護老人ホーム灯光園/ 職員	松井順子
8月3日	小児感染症の予防と日常生活について	御前崎市立白羽保育園/ 職員	松井順子
9月19日	看護の出前授業	浜岡北小学校	曾根ゆう子
11月20日	地域看護Ⅱ 医療管理を必要とする療 養者の看護（褥瘡管理）	東海アクシス看護専門学校/ 2学年	岡本律子
11月 25.26日	まちの保健室	静岡県看護協会中東遠地区 支部/御前崎市民	岡村映子 一色姫奈 成田琴葉 西川美佐子 杉山弘美 笹原由子 齋藤加奈 増田良江
12月20日	2023シアワセミライカイギin池新田高 校	池新田高校/ 2年生112名	植田淳子
1月30日	いのちの授業	浜岡東小学校/ 4年生	杉山弘美
2月26日	いのちの授業	浜岡第一小学校/ 4年生	杉山弘美
3月30日	市民公開講座 健康相談	御前崎市民会館/ 来場者	西川美佐子 伊藤裕美 森田美保子 笹原由子 堀江晃子 増田良江

4. 外部からの受け入れ
看護学生病院見学
介護学生センター見学

13名
2名（学生外他4名見学者あり）